

地域コミュニティアプリの実証事業 Q&A①

【地域コミュニティアプリの仕組みについて】

Q1 地域コミュニティアプリとは、紙の回覧板の代わりにデータの入ったタブレットを隣の家に回覧することなのか。

A1 参加者のスマートフォンやタブレットにインストールした地域コミュニティアプリから**広報紙や連絡文書を見られるようにする**ことです。

Q2 地域コミュニティアプリとか言われてもイメージがわからない。

A2 サンプルを準備していますので、実際に使う場合のイメージを**タブレットで体験していただくことも可能**です。お気軽にご相談ください。

Q3 地域コミュニティアプリは、世帯に1つしか入れられないのか。

A3 いいえ、**希望するご家族分、入れることが可能**です。例えばお父さん、おじいさん、それぞれのスマートフォン等に地域コミュニティアプリを入れることも可能です。

【スマートフォン・タブレットアプリを活用するメリット・デメリットについて】

Q4 地域コミュニティアプリを使うことで何かいいことがあるのか。

A4 現在、行政区長さんや隣組長さんが行っている文書の仕分けや配布などの労力を削減したり、在宅・不在に関わらず**リアルタイムで情報発信**ができたりする効果が想定されます。また、配布文書は過去の文書も含めて、**いつでもどこでも何回でも**自分のタイミングで見たり確認したりすることができるようになります。LINEなどの**プライベートのアプリとの使い分け**、**災害時での安否確認機能**もメリットです。

Q5 地域コミュニティアプリに変えることで、実際に顔を合わせる機会が減るのではないか。

A5 コロナ禍における非接触といった新しい生活様式の中で、デジタル技術の活用により、感染症の予防とコミュニティ活動の両立を図る手段として有効に活用できるものか等も検証します。まずは使ってみていただき、課題などあれば、実施後の**アンケートでご意見**をお聞かせください。

地域コミュニティアプリの実証事業 Q&A②

【実証事業の実施について】

Q6 スマートフォンでは、画面が小さくて見るのが大変だ。タブレットの貸出などはないのか。

A6 **貸出用のタブレットは準備する予定**ですが、数には限りがあります。希望者全員に行き渡らないこともあるかもしれません。できるだけご自身の端末の活用にご協力ください。

Q7 アプリを入れたり普段からスマートフォンを使い慣れていない人たちも多い。何かサポートはあるのか。

A7 実証事業にご参加いただける隣組の方たちには、**事前にアプリの初期設定や運用に関する説明会を開催**する予定です。実証事業が始まってからも**希望に応じた説明会の開催**や**随時お問い合わせなどに対応**しますのでご安心ください。

Q8 地域コミュニティアプリを試してみたいが、隣組加入者全員が参加しないと手を挙げられないのか。

A8 **全員が参加しなくても**手を挙げていただくことは可能です。柔軟に対応しますので、**お気軽にご相談**ください。まずは、できるだけ**多くの方にご参加いただき、体験していただくことが大切**だと考えています。

Q9 募集の期間が短いと隣組内で意見を取りまとめることもできない。余裕をもって募集をしてほしい。

A9 **募集期間は4月17日から5月16日**までの1ヶ月間あります。その間、随時お問い合わせやご相談もお待ちしています。また、募集期間の終了後は、状況により途中参加が可能となることもありますので、まずはお電話ください。

Q10 実証事業の参加に手を挙げれば、全員参加できるのか。

A10 今回は、令和4年度に参加された方たちに加え、新たに100名程度の参加者を見込んでいます。それ以上に参加希望がありましたら、追加の予算措置なども検討し、対応したいと考えています。**できるだけ多くの方に参加いただきたい**と思います。

地域コミュニティアプリの実証事業 Q&A③

【実証事業の実施後について】

Q11 今後、スマートフォンやタブレットを使ったアプリに置き換えていくということなのか。

A11 本事業は**今後、本格的なサービスとして継続して提供**することを見込んでいますが、例えば市内の地域性などでも効果の高いところとそうでないところがあると想定しています。そのため、**一気に市内全域すべての情報が紙から電子に置き換わるということではない**と考えています。一方で、こうした取り組みを今から**徐々にでも始めていく必要性はある**と考えています。ぜひ、積極的にアプリの活用をお試しいただきたいと思います。

Q12 実施後のアンケートはどういったものを想定しているのか。

A12 **アプリを使ってみてよかった点や悪かった点など**をお聞きします。また、コロナ禍における新しい生活様式の中で、感染症の予防とコミュニティ活動の両立を図る手段としてふさわしいものかを検討するためのご意見もいただきたいと考えています。現時点では10分程度のアンケートを想定しています。

